



熊本YMCA常議員 幼稚園運営委員
日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団熊本聖書教会牧師
長澤 牧人 さん

“落ちこぼれ”、“浪人生中退”、牧師を志す

「大津のサツマイモって、おいしいですね〜」。目を細めて語るのは長澤牧人さん(56歳)。30代は国内外で宣教師、牧師として教会活動。その後、アメリカの神学校で博士号を取得し、現在は熊本聖書教会の牧師を務めています。豊富な経歴の長澤さんですが、多くの紆余曲折と転機がありました。「小学校までは“優等生の学級委員タイプ”。ところが、中学に入るとそこは“ヤンキーの巣窟”。“番長”と意気投合して一切の勉強をやめました。夜中に家を抜け出すことはしょっちゅう。成績はひどいもので“落ちこぼれ”でした。一つ目の転機が高校受験。「高校には行かないつもりでしたが、中3の冬に友人に誘われてしぶしぶ模擬試験に行くと会場の九州学院で見つけたのはラグビー部のゴールポスト。ラグビーファンだったので『この学校に行くぞ!』と猛勉強しました。結果はなんと合格です」。

第二の転機は高校卒業後に訪れます。「大学を目指して浪人中のある時、友人から連絡があり、『東京に出てこいよ』と。上京して雑誌編集の仕事に就いてしまいました。“浪人生中退”です」。雑誌は間もなく廃刊。再就職し、サラリーマンとして働いていたころ、第三の転機につながるできごとが。「病院の誤

クリスマスは、希望のはじまり

診により網膜剥離が悪化し、大きな病院に入院することになりました。『手遅れです。義眼になることを覚悟してください』、『何をやっても無駄』という医師を説得し、手術を受けたら視力が回復したのです。聖書の一節にある奇跡のようなできごとでした。クリスチャンホームに育った長澤さんは、この体験から教会活動に熱心に取り組み始めます。「教会から遅く帰ったある日、ふと家の前の柳を見上げて、『神学校へ行かなければ』という使命にも似た気持ちがこみあげてきました」。

アメリカ社会を通して日本を見る

長い海外生活のうちの8年間は、アメリカの神学校博士課程での研究生活でした。国民のおよそ8割がクリスチャンと言われるアメリカ。宗教界の主張が政治をも動かす、と捉えると、キリスト教界は世界全体に影響を及ぼすと言えます。Black Lives Matter運動は現代アメリカ社会のある側面を表していますし、政治的主張による国民の分断が進んでいます。「アメリカのキリスト教界が国民の分断の根っこにあるという側面は否めません。どの党を支持するかが、概して『主流派』と言われるリベラル層と、『福音派』に属する保守層のラインにほぼ一致します。前々政権時代から現代に至る構図はキリスト教界の分断に通底していると言っていいでしょうね。教会が政治的主張をしたがゆえの結果です。教会はともに祈る場所で、政治的主張をする場であるべきではない、というのが私の意見です」。

文化庁によると日本のクリスチャンは人口比で約1%。戦後76年間ほぼ変わっていません。現代の日本で教会の役割は、との問いに長澤さんは「聖書にイエスが『あなたがたは世の光、地の塩』と語る箇所があります。たとえ1%でも闇の先にほんのり佇むともしびでありたいと思います」と答えます。



神学校の卒業式

闇の中に希望を見出す、とは

「現代社会は闇ですが」、との前置きで長澤さんは続けます。「長年、癌闘病をしていた教会員が亡くなりました。彼女が綴った闘病中のブログには何千ものフォロワーがいて、亡くなったことが最後のブログにアップされると、たくさんの感謝のメッセージが寄せられました」。キリスト教的価値観で紡がれた女性の言葉が、クリスチャンであろうとなかろうと多くの人々を勇気づけ、闇の先のともしびとなっていたのです。

政治家でも官僚でもない一般人の私たちが世に希望を見出すとしたら、「団体としてのYMCAがその場になり得る」と長澤さんは語ります。「もうすぐクリスマス。YMCAで祈りから始めましょう。ブログで人々を励ました彼女のように、希望とは華々しく出現するものではなく、ひっそりと身近などこかで始まるのかもしれない。なにより、赤子で世に現れたイエスがそうだったのですから」。

Pickup

ブランコ楽しい!
阿蘇ファミリーキャンプ



みんな頑張ったね
水前寺幼稚園
マラソン大会

でき上がりが楽しみ
熊本五福幼稚園
干し柿づくり



I n f o r m a t i o n

行こう 見よう 深めよう

1月～3月

冬から目指すキャリアアップ YMCA社会人講座が開講

専門学校
×
新講座

今年開館したYMCA本館で、新たに社会人のための「ポジティブ講座」を開講します。キャリアアップを目指す講座をはじめ、皆さんの毎日に役立つ内容を企画しています。ぜひご参加ください。

場YMCA本館(熊本市中央区
段山本町4-1)

催・間YMCA学院

Tel 096-353-6393

お申込みは
Webで▶



	期間(予定)	曜日・時間	費用(教材費別途)
作業効率アップ ワード講座	2022年1月11日 ～3月15日	火曜日 19:00-20:10	13,000円/全10回
作業効率アップ エクセル講座	2022年1月11日 ～3月15日	火曜日 20:20-21:30	13,000円/全10回
美文字になるための ペン字講座	2022年1月8日 ～3月19日	土曜日 9:30-10:40	10,000円/全10回
姿勢改善 ピラティス	2022年1月14日 ～3月18日	金曜日 19:00-20:10	3,000円/月
診療情報管理士 受験対策講座	平日の昼間 日時の詳細はお申し込み後、ご相談ください		1000円/1回
建築業界に興味の ある方へのCAD講座	2022年1月13日 ～3月17日	木曜日 19:00-20:30	30,000円/全10回

YMCA阿蘇キャンプ ライブ配信スタート

13 15

キャンプ
×
絶景

YMCA阿蘇キャンプのテラスから眺める阿蘇の風景をライブ配信しています。移り行く季節をオンラインでお楽しみいただけます。また、facebookやインスタグラムでは最新情報をお届けしています。



ライブ配信イメージ

阿蘇キャンプ
Webページ

インスタグラム

1月18日～24日

YMCA年末募金 チャリティプログラム

1 3 4 10 16 17

チャリティ
×
楽しむ

11月から取り組んでいるYMCA年末募金の一環として、チャリティプログラムを開催します。詳細は随時、各センターのWebページでご案内します。

みなみセンター

回2022年1月23日(日)
回 スポーツ体験・バザー
など

むさしセンター

回2022年1月23日(日) 回 大人のワンポイント水泳
講座・プール開放・楽しいクラフト教室・バザーなど

ながみねファミリーセンター

回チャリティウィーク 2022年1月18日(火)～24
日(月)・プログラム 1月23日(日) 回 プール開
放・ゲーム・バザー・キッチンカー など(予定)

間Tel 096-353-6391



1月29日～30日

熊本バンド146周年記念行事

16

キリスト教
×
祈禱

日本におけるキリスト教プロテスタントの源流の一つとなった「熊本バンド」の結盟146周年を記念して、講演会と早天祈禱会を開催します。

講師・奨励 越後屋朗さん(同志社大学神学部教授)

講演会

回2022年1月29日(土) 18:30～20:00 場 熊本草葉町教会
場 熊本バンドと新神学

早天祈禱会

回2022年1月30日(日) 6:30～7:30 場 花岡山山頂 熊本バンド奉教之碑前
奨励 目を開く

※講演会・祈禱会共にライブ配信をいたします。感染拡大状況により、現地での参加をお控えいただく場合があります。現地参加の可否は1月20日以降に熊本YMCAのWebサイトまたはお電話にてご確認ください。

場 熊本バンド146周年記念行事実行委員会

間 実行委員会事務局熊本YMCA Tel 096-353-6397

熊本バンド記念行事
Webページ▶



2019年度の様子

回日時 場会場 内容 参加費 定員 参加条件 持ち物 対象 主催 締切 申込 問合せ その他

COM・PASSION II

おもいやりとやさしさ Vol.3

総主事 光永 尚生



熊本YMCAのA・アソシエーション の意味を考えてみます

YMCAはYoung Men's Christian Associationの略ですが、私たちの世代には、「YMCA=You Must Come Again」となる場所ですね、とおっしゃる方がいらっしゃいます。言い得て妙だといつも思っていました。YMCAでは、

C(=クリスチャン)がクローズアップされます。YMCAの日本語訳はキリスト教青年会でした。熊本YMCAの使命の前文は、「熊本YMCAは、熊本バンドの精神を受け継ぎ、イエス・キリストによって示された愛と奉仕のわざに励み」という文章からはじまります。

つまり、キリスト教の精神を受け継ぎ、実践するグループ=群れであるということですが、決してクリスチャンの方ばかりではありません。その由来は、YMCAのA=Associationに意味が含まれています。私の理解では「A=ごちゃまぜの集団」であり、アメリカの哲学者であるジョン・デューイが提唱した「Learning By Doing=為すことによって学ぶ」のグループワークを実

践している集団にほかなりません。

昭和の時代まで、社会教育法の第10条には、社会教育団体としてYMCAという記載があったことを今も鮮明に覚えています。私たちのYMCAは、「ごちゃまぜの集団=エキュメニカル=超教派=For All、つまり誰でも入れる多くの窓口を持っている団体」であるという定義もよいかもしれません。

その根っこにある意味は、YMCAの正章にあるヨハネによる福音書17章21節「みんなのものがひとつとなるように」です。ごちゃまぜの集団の、ひとつとなっていく働きが平和を創りだすPeace Makerとなるように祈りたいものです。

R | E | P | O | R | T

[10月29日⇒11月13日]

募 金

富田宇宙さんにつながる オンライン交流会

3 10 16 17

YMCA年末募金のキックオフプログラムとして、熊本YMCA水泳教室の元在籍生で、2020東京パラリンピック競技大会競泳のメダリスト富田宇宙さんとオンラインでつながる交流会を10月29日(金)に開催しました。子どもから大人まで約60名が参加しました。

富田さんは「感謝」「共感」をテーマに、次回のパリパラリンピックに向けて取り組むこと、これからスペインを拠点として「共生社会の実現」に寄与すること、幼少時代の夢である「宇宙旅行の実現」への思いを話してくれました。

質問コーナーでは、子どもたちからの「水泳をはじめたきっかけ」や「緊張しない方法は」といったものから、「辛いことを乗り越えるためのメンタルの在り方」など、アスリートならではの質問に回答。夢を語る事の大切さや寄附について考える機会になりました。

YMCA年末募金の活動は、「平和を創るコースの育成」「こどもたちに学びと成長の場を」「いのちが大切にされる世界を」等の目的達成のため、2022年1月末まで1,000万円を目標に実施します。

職員 木村成寿



チャリティ

工夫をしながら開催 YMCA祭

10 11 16 17

今年も各拠点でYMCA祭を開催しました。コロナ禍のため、昨年に続き例年通りの開催が難しい中、参加者を制限するオンラインでの取り組みに力をいれるなど、アイデアを出し合い、工夫をしながら実施に至りました。

熊本YMCA創立20周年を機会にはじまり、53回目を迎えた本館の前進祭。今年は2週間にわたってチャリティーバザーを行ったほか、「食べて前進祭」と称して、近隣地域からお弁当やお菓子を日替わりで取り寄せて販売しました。11月2日(火)に販売したあげぱんは早々に完売。予約販売したお弁当は

204個にのぼり、学生たちも協力して、たくさんの笑顔が見られました。

また、本館のプログラムをアピールする動画を配信。専門学校の各学科の学生たちが作った動画は個性あふれる内容でした。動画はWebページで視聴できます。

前進祭をはじめ、みなみセンターやながみねファミリーセンターで開催した祭の益金は子どもたちや若者の支援、国際協力、災害支援等に用いられます。

職員 山田真二



英語+野外

グローバルキッズ 本格的なピザ窯でクッキング

4 10 15

毎週土曜日、みなみセンターで活動しているグローバルキッズクラブ。年中～小学2年生の計22名の子どもたちが、終日英語を使いながら過ごしています。11月のテーマは「Cooking」でした。いつもと一味違うクッキングを体験するために、リフレス大牟田ヘフィールドトリップにでかけ、思い思いのオリジナルピザを本格ピザ窯で焼きました。

「Pizza sauce, please!」や「Can I have some more corn?」、「I don't like tomatoes」などピザのトッピングを選びながら、覚えた食べ物の英語を復習したり、お料理に必要な語彙を発話したりと、

いつもに増して英語が飛び交いました。ランチはもちろん、オリジナルピザ。自分で作った本格手作りピザの味は格別で、お友だちと一緒にシートに座ってみんな満面の笑顔でほおばりました。食後のフリータイムでは、ふわふわの干し草に包まれ転げまわり、ワイルドに体を動かしました。心も体も大満足のYummyでExcitingな一日でした。

グローバルキッズクラブは、YMCA阿蘇キャンプでも開講中です。詳細はWebページで紹介しています。

職員 麻生由紀



祈 り

こわれたものからの美しさ YMCA/YWCA合同祈祷会

16 17

YMCAとYWCAが共に祈る合同祈祷週が11月7日(日)～13日(土)に開催され、「Beauty from Brokenness こわれたものからの美しさ」をテーマに、祈りと学びの時を持ちました。

最終日である11月13日(土)には熊本YMCA本館ジェーンズホールで、YMCA、YWCAから計23名の参加者が集い、合同祈祷会を開催。日本基督教団熊本白川教会牧師の富山信さんより「神の力は弱き所に働く」をテーマに説教が行われ、私たちが弱い時にこそ支えてくださる神の存在についてメッセージが送られました。今回与えられた聖書の箇所はコ

リントの信徒への手紙Ⅱの12章1～10節でした。特に10節の「それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。」という御言葉には、癒しと慰め、そして励ましを与えられました。

合同祈祷会は、一日も早いコロナの収束を願いながら夢と希望を持ち、明るい未来を創造していくためにYMCAとYWCAがさらに協働を図り、より良い社会、地域を育んでいく事を確認し、共に祈る機会となりました。

職員 大久保和生



熊本YMCA フットボールクラブ 生涯スポーツ優良団体に選出

熊本YMCAは1967年に九州で初めて民間団体としてサッカー教室を開講。その歴史を受け継ぐフットボールクラブが、地域におけるスポーツの振興に顕著な成果を上げたスポーツ団体等を文部科学大臣が表彰する「生涯スポーツ優良団体」に選出されました。

YMCAサッカー教室▶



オンライン 英検対策 7月～10月受講生全員が合格

2018年度から取り組んでいる小中学生を対象とした英検対策講座。今年度はオンラインで対策講座を開講しました。7月から5級講座を受講した6名、4級講座を受講した2名が10月9日の英語検定に挑戦。全員が合格を果たし喜びを分かち合いました。

こどもえいごスクール▶



尾ヶ石保育園 ツリーハウス ウッドデザイン賞受賞

YMCA尾ヶ石保育園は、熊本地震以降、子どもたちと地域住民の交流、防災活動や森を育てる場として「森の小径」を整備。今年3月、森の小径の入り口に完成したツリーハウスがウッドデザイン賞2021を受賞しました。ツリーハウスからは阿蘇の涅槃像や保育園周辺全体、土砂災害警戒区域となっている保育園西側の谷を望むことができます。



ピンク シャツデー 弁論大会で最優秀賞受賞

YMCAはいじめのない世界を目指すピンクシャツデーに取り組んでいます。2月、玉名市の玉陵中学校では、全校生徒と教員らがハートのシールを胸に貼って意識を高めるなどしました。活動の中心となった東歩さんが、10月に玉名市で行われた「青少年の主張」弁論大会で「扉を開ける鍵」と題して、この活動に対する思いを発表。見事、中学生の部の最優秀賞を受賞しました。



第35回 体操フェスティバル

11月23日(火・祝)、益城町総合体育館で開催。YMCA体操教室に通う112名の子どもたちが日頃の練習の成果を発表しました。



次号は1・2月合併号として、1月中旬に発行します。

わたしと聖句

イザヤ書9章5節

ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。／ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。

クリスマスの奇跡

あなたは奇跡を信じますか？私は奇跡を信じています。というのも私の信じる神は今日も奇跡を持って私たちの人生に臨んでくださるからです。

世界で最初のクリスマスは、神は今日も奇跡をもって私たちの人生に関わってくださいることを現しているのです。それはどういう意味でしょうか。神ご自身が人の姿を持ってこの地上にお生まれになったという奇跡です。これは創造主なる神が、罪の中で歩んでいる人類を救い、その愛を示すために一人子である、イエスを人々に送ってくださったのです。この奇跡は人類に多大な影響を与え続け

熊本ハーベストチャーチ教会
中村陽志

て来ました。医療活動、福祉活動、教育界の基本的精神に彼の教え、生き方は影響を与えています。文化的遺産、芸術は彼の生き方がモチーフになっています。

イエスの生涯は奇跡にあふれています。旧約の多くの預言の成就としてベツレヘムでお生まれになり、母マリヤは処女にもかかわらず聖霊によって身ごもり、その赤子に会うために東方の博士たちや羊飼いたちが導かれました。イエスは誕生し、三十歳から公生涯に入り、目の見えない人の目を開き、耳の聞こえない人の耳を癒し、足の不自由な人を立たせ、死人さえも蘇らせました。多くの人々の人生に奇跡をもたらしたにもかかわらず、十字架の刑で処刑を強いられました。しかし三日目にイエスはよみがえり、今日も信じる人々の人生にその奇跡を持って臨んでくださるのです。

コロナは分断と痛みをもたらしました。キリストの奇跡はこのような世界に和解と安らぎをもたらしてくださいるのです。

発行所／(公財)熊本YMCA
〒860-8739 熊本市中央区段山本町4-1
TEL 096-353-6397(代)
発行人／光永 尚生 編集人／辻 健太郎
定価60円 購読料は会費に含む
www.kumamoto-ymca.or.jp



Facebook

熊本YMCAの使命

共に生きる社会 生涯学習の推進 ボランティア活動
地球環境の保全 ウエルネス活動 平和な世界

2021年度基本聖句

コリントの信徒への手紙二 4章18節

わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。